

不香の花ぞ

(平成二十九年 度寮歌)

冠花君 作歌
佐藤亮君 作曲

一

不香の花ぞ柔らかに
霊舞い遊ぶ纖細の
樹間に薫る雪煙
白妙綻ぶ棹透り
蒼空麗しき北の幸
憂き世肴に耽る子ら
枯淡の美にも感激ずや

二

血潮滴るナナカマド
落葉千々に原始林を抜け
雪の波打つ海原か
振れば残映光なく
枯れ蔓覆うこの寮に
自然に根ざす孤独得て
冬の無情な愛を知る

三

散ればこそよと小夜嵐
喧騒遠く鎮まりて
銀壺に燃ゆる胸の中も
愁い込めたる赤天も
黙す吹雪に命牙ゆ
厳しき雲海に唯独り
帆立つ遊子馳せし滯